

## 実践記録（小2・生活科）

### 1 ねらい

3種類の付箋紙を活用し、分かった情報を整理することで考えを共有したり、新たな気づきから考えを深めることができる。

### 2 手立て

公園の中でおすすめしたい遊具や施設の写真をスクリーンの写真に大きく映しながら、おすすめの理由を青の付箋紙に書いて黒板に貼る。疑問に思う点を黄色の付箋紙、疑問に対する答えを緑色の付箋紙で貼って考えを深められるようにする。低学年でも活発な話し合いができるように、教師が主導で黒板で付箋紙を整理するようにする。一つ一つの遊具や施設を取り上げることで考えを焦点化できるようにする。

| 公園の中でおすすめしたいところを考えよう        |                      |                       |                 |
|-----------------------------|----------------------|-----------------------|-----------------|
| ぐるぐる回るゆうぐ                   |                      |                       |                 |
| ぐるぐる回るゆうぐは、回るとおもしろいのでおすすめです | どうしてみどりのマットがついてるの    | けがをしないようにみどりのマットがある   |                 |
| ぐるぐるはみどりのマットがあつてべんりです       | まんなかのぼうがまがつているのはなぜ   | まがつている方が回しやすいから       | まがつていた方がもちやすくなる |
|                             | なぜぐるぐるはしば公園にしかないのですか |                       |                 |
| ぐるぐるはなぜ2つおいてあるのですか          | まわるはやさがちがうから         | いろいろな人があそべるように2つおいてある |                 |

### 3 実践の様子

学校の隣にある公園の中で面白い点や便利な点といったおすすめしたいところを青の付箋紙に書かせて発表しながら黒板に貼るようにした。黄色の付箋紙を使って疑問に思うことを質問し、緑色の付箋紙で疑問への答えを出すようにした。ぐるぐる回る遊具についての話し合いでは、緑のマットや中心の棒が曲がっていることについての疑問が出てきた。そして「マットがあるのは、けがをしないようになっているからです。」「棒は曲がっていた方が持ちやすいからです。」など、疑問の答えとなる意見を児童が発表することで、考えを共有し深めることができた。一つずつ公園の遊具・施設の写真をプロジェクタで大きく映し確認したり、これまで公園で遊んだ経験を振り返ったりすることで、児童は公園の安全や使いやすさの工夫など今まで気付かなかった点に気付くことができた。



カードを使った話し合いの様子

### 4 成果と課題

- 付箋紙を使って面白い点や便利な点についての考えを出し合い、整理することによって、公園の遊具や施設の工夫に気づき考えを共有することができた。
- 遊具や施設によってはあまり意見が出ず、考えを深めにくいものもあった。よく利用している保護者などに聞くなど、新たな視点を持つことができるようにしたい。